

甘糟近江守

あまかす おうみのかみ

新



決戦 川中島 ~其の貳~ 上杉軍の秘策

だが、お館様は、このキツツキ戦法を見破って、背後から攻めてくる武田軍の別働隊よりも早く山を下り、一挙に武田信玄の本隊を全滅させる作戦を考えたのじゃ。「鞭声粛々夜河を渡る。」ひっそりと鞭の音もしないようにして、夜のうちに川を渡ったのじゃ。その時、川中島は霧につつまれていたのじゃ。霧が晴れた時、目の前に突如、上杉軍が現れたのを見て、信玄はさっと度肝を抜かれたことじゃろう。こうして戦国時代の最大の激戦の火ぶたがさって落とされたのじゃ。

直江入道

なおえ にゆうどう



「激突! 上杉軍・車懸の陣 対 武田軍・鶴翼の陣」
(写真提供(株)エム・コミュニケーション)

決戦 川中島 ~其の参~ 勝敗は

上杉軍の陣形は、「車懸かりの陣」。車輪のように陣を回転させながら、一陣、二陣、三陣と入れ替わり、新手を繰り出す戦法じゃ。虚を突かれた武田軍は「鶴翼の陣」で応戦。鶴が翼を広げたような陣形で、左右に長く、敵を中に引き入れて取り囲み、攻撃する戦法じゃ。お館様は、一挙に信玄の本隊を全滅させたかったのじゃが、武田軍も手強く崩しきれなかった。のちに山を下ってきた武田軍の別働隊により戦況は変わってしまい、お館様は、これ以上、戦をすることは不利とみて、善光寺に引き上げたのじゃ。あと少しというところだったのに悔しいのう。